



三瀬校区社協だより

令和4年3月発行 第3号

発行責任者 三瀬校区社会福祉協議会 会長 井上文昭

ごあいさつ

三瀬校区社会福祉協議会
会長 井上文昭

日頃より三瀬校区社会福祉協議会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

三瀬校区社協では、子どもから高齢者の方々までこの「のぼり旗」のスローガンのように「安心して住み続けられる村を目指して」地域づくりを目指しています。過疎化が進むなか福祉に対する課題や要望も多様化してきています。これから地域の皆様の声をいただきながら、福祉を推進していく必要があります。

皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。



校区社協のシンボルとしてのぼり旗を作りました。

ご寄付御礼



社会福祉事業のためと、次の方からご寄付をいただきました。
三瀬村の福祉事業のために大切に役立たせていただきます。



山中千登吉様 故山中フサエ様

見守り懇談会開催！

～日頃の状況について情報共有が図られています。～

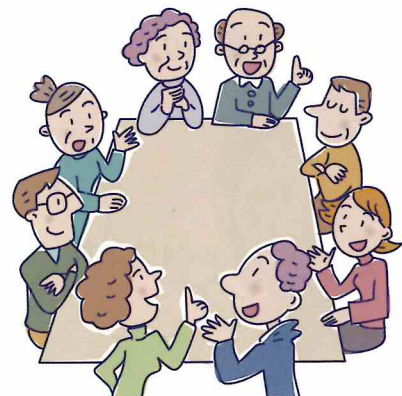
令和3年11月末に宿公民館で、見守り懇談会が実施されました。

自治会長会が中心になって、民生委員、見守り協力員等により普段の様子や日常の中で気づいたことについての情報交換がなされました。

昨年のお大雪では地区住民で地域の高齢者宅の除雪をおこなったことや大雨の際の避難状況や熱中症を予防するための声掛け、灯油入れを手伝ったなど様々な情報交換がなされました。

「福祉協力員」は日常のさりげない見守りの中でいつもと様子が違った場合、自治会長や民生委員に連絡する「つなぐ」役割です。

12月には2区地区でも懇談会が実施され、熱心な情報交換がなされました。



三瀬校小学部との世代間交流

三瀬校小学部3年生と地域の方々の昔遊び交流が三瀬校多目的室で実施され、三瀬地区民生児童委員協議会と三瀬校区社協から万華鏡等の昔遊びの品を送りました。地域の方々と作り上げた後、遊び方を教えてもらったりして和やかな交流ができました。



三瀬校区社会福祉協議会歳末たすけあい事業を実施しました。

12月末に、歳末たすけあい事業として鏡餅を75歳以上のお一人暮らしの方々に小学3年生が書いたメッセージカードを添えて、三瀬地区民生児童委員協議会よりお配りいただきました。



三瀬校区社会福祉協議会代表者会議及び役員会

令和3年度は、見守り活動推進のための地域懇談会や小学生対象の三瀬ふれあいチャレンジ塾や歳末たすけあい事業などについて協議をおこなってきました。

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動がかなり制約された中で、これからも地域の皆様が明るくいきいきとした日常を継続してもらえるように、住民の方々と三瀬校区社協が一つになって取り組んでまいります。



三瀬校区社会福祉協議会へ

聞きたい!! 知りたい!!

Q&A

Q1

三瀬校区社会福祉協議会とは何ですか？

A

安心して住み続けられる村をめざして「助けあい・支えあう」窓口です。
皆様の困ったという声に寄り添って一緒に解決していく団体です。

Q2

香典返しや寄付は、三瀬校区社協宛にできますか？

A

出来ます。皆様からの浄財です。三瀬のために大切に役立たせていただきます。

三瀬保健センター内に
月曜から金曜まで職員が常駐しています。
お気軽にご連絡下さい。
三瀬校区社会福祉協議会 TEL 51-6001

